

|       |   |      |     |
|-------|---|------|-----|
| 単元名   | 季節の言葉4  | 配当時間 | 2時間 |
| 単元の目標 | (1) 語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。<br>(2) 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。<br>(3) 季節を表す語彙を豊かにし、意図に応じて言葉を吟味しながら手紙を書こうとする。 |      |     |

標準的な展開例

06010218\_001

【教材名】 冬のおとずれ (P. 182～P. 183)

| 学 習 活 動  | 留 意 事 項 など  |
|--|---|
| 1～2 冬から春へと向かっていく暦を表す言葉やその意味を知り、言葉のもつ語感や使い方に対して関心をもつ。<br>★季節の様子を入れて、手紙を書こう。<br>○冬のイメージを広げる。<br>・二十四節気の意味を確かめ、教科書の中の短歌や俳句を音読する。<br><br>○自分が「冬」を感じる言葉を考える。<br>○自分が住む地域の「冬」の様子を手紙に書く。<br><br><br><br><br><br><br><br><br>○互いの手紙を読み合う。<br>○学習を振り返る。 | <ul style="list-style-type: none"><li>・五感を働かせて、冬を感じるものを発表させる。</li><li>・教科書（P. 182～183）の写真を使い、その言葉へのイメージをもたせる。</li></ul> <p>【評】手紙を書く活動を通して、季節を表す言葉に関心をもち、使う言葉を吟味しようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>【評】手紙を書く活動を通して、伝えたいことを明確にする「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】手紙を書く活動を通して、語感や言葉の使い方の「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・感想を伝え合わせ、「冬」を感じる言葉について、認識を広げたり深めたりさせる。</li><li>・実際に渡したり郵送したりさせてもよい。その際は、目的意識の一つとして活動の初めに伝えておく。</li></ul> |

【 備 考 】